ひとが生き生きと暮らすための情報誌

びよんど

Beyond gender

2015.9　VOL.38

男女平等参画センター リニューアルオープン！

特集 水戸市男女平等参画センターがリニューアルオープンしました！

記念講演会
輝く女性推進とイクメン急増で変わる！「ワークとライフ」の新しいカタチ……2･3

・みとちゃんが教えてくれる ひらおとひとこの 男女のヒミツ３
～ワーク・ライフ・バランスって何？～……4･5
・新しくなった「水戸市男女平等参画推進基本計画」のお知らせ……6
・９月は水戸市男女平等参画推進月間です……7
・さんかくデータ……8

男女共同参画都市宣言

美しい自然に恵まれ豊かな歴史を育(はぐく)んできた、わたしたちのまち水戸
わたしたちは、水戸のまちをさらに輝きあふれる明日へとつなぐため、「平等・創造・平和」を基本理念とし、男女がともにわかちあい、ともにつくる社会の実現に向け、水戸市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

1　わたしたちは、ともに一人ひとりが尊重しあい、平等のもとに生き生きと暮らせるまち水戸をつくります。
1　わたしたちは、ともに自らの意思で社会のあらゆる分野に参画し、次の世代へとつなぐ豊かでゆとりのあるまち水戸をつくります。
1　わたしたちは、ともに地球環境を守り、世界へ向けて、友情と平和の輪を広げるまち水戸をつくります。

平成８年４月１日　　水戸市

※誌名「びよんど」は1997年、公募により命名されました。 Beyond gender（性差を超えて）の思いが込められています。ジェンダーとは、社会的性別のことです。

記念講演会

輝く女性推進とイクメン急増で変わる！「ワークとライフ」の新しいカタチ

平成27年4月5日開催

世代・トレンド評論家。マーケティングライター
牛窪（うしくぼ）　恵（めぐみ）さん

女性の生き方が変わった！

１９９０年代の日本経済は、１９８０年代後半に始まった「バブル」と呼ばれた右肩上がりの経済状況から一転して不況となり、この頃から、女性の生き方が変わってきたと牛窪さんはいいます。均等法の影響もあり、共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回り、さらには女性の４年制大学進学率と、短大進学率が逆転し、女性の高学歴化がより進み、女性が社会に出る機会が一層増えてきました。

一方で、イクメン（育児をする男性）が増え、20代～40代の男性の半数がイクメンを実感しています。しかし、２０１０年に改正育児介護休業法が施行され、育児休業の取得が促進されているにも関わらず男性の育児休業取得率は、いまだ２．３％と伸び悩んでいます。

内閣官房「国・行政のあり方に関する懇談会」の委員や、内閣府「経済財政諮問会議」の政策コメンテーターなども務める牛窪さん。安倍政権で進められている、「輝く女性推進」がなぜ必要なのか、理由を次のように語りました。一つ目は、「日本のジェンダーギャップ指数（国別の男女格差を表す指数）の順位が１００位を下回り、先進国の中では最低のレベルになっていること。これは、女性の社会進出が大変遅れていることを示しており、その改善が必要。」二つ目は、「少子高齢化で２０３０年までに、労働力人口が９５０万人以上不足するというデータから、日本経済の成長と同時に働く人材の確保を進めていかないと、今後の日本経済は危機的状況になる。」と説明しました。

男女の意識は世代や景気で違う

世代研究も行う牛窪さんは、戦後生まれで一番人口の多い団塊世代（１９４６～５１年生まれ）をはじめ、新人類（１９５９～６４年生まれ）、真性バブル世代（１９６５～１９７０年生まれ）、団塊世代の子供達である、団塊ジュニア（１９７１～１９７６年生まれ）、草食系世代（１９７９～１９８７年生まれ）、ゆとり教育の賜物のさとり世代（１９８８～１９９７年生まれ）など生まれた年で世代を分類し、それぞれの時代の特徴や流行語、流行のものなど詳しく解析しました。特に、団塊ジュニア世代（現40歳前後）より上と、さとり世代や草食系世代（現20歳代～30歳代）とでは、世代によって働き方への思いや、心構え、そして家庭への考え方は大きく異なっており、世代間のギャップが非常に大きいといえるそうです。そして、「男女の意識とトレンド（流行）は、多感な時期（17～23歳）を過ごした時代の景気に大きく左右されます。つまり団塊ジュニア世代から下の世代は、皆まさに不況続きの時に多感な時期を過ごしてきているわけです。」と解説しました。

子育て期の協力がその後の生活を変える

また、妊娠しているときに、夫を本当に愛していると感じている妻が70％以上いるのに対し、子どもが産まれてから2歳になるまでに夫を愛していると感じる妻は20％まで減ってしまうデータを示し、子育て期における男性の協力が、その後の生活に大きな影響を与えると解説しました。「今は三組に一組が離婚する時代といわれています。離婚におけるダメージは女性より男性の方がはるかに大きい。」と牛窪さんはいいます。「会社でも、家庭でも、男女の考え方や世代を超えて、みんなで協力し合う意識を持つことがとても大切。これは介護にも通じることだと思います。」最後に牛窪さんは、「自分にあったワーク・ライフ・バランスを実現し、人生をより一層ハッピーにしてほしい。」と結びました。

参加者の声

世代別の意識の差が、ワーク・ライフ・バランスを考える際の障害になるのだと新しい発見をしました。
（40代　男性）

自分の世代の説明や、今までぼんやり感じていた世代間ギャップなど、分かりやすい説明であっという間でした。
（30代　女性）

草食系世代が、管理職になったときどうなるのだろうか。
（70代　女性）

水戸市男女平等参画センター「びよんど」が４月

　水戸市男女平等参画センター「びよんど」は、性別に関わることなく、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、「男女平等参画社会」を実現するための総合的な拠点施設です。当センターは、みと文化交流プラザの中にあり、男女平等参画を推進するための講座の開催、登録団体の活動支援、情報発信のための資料の閲覧や書籍・DVD の貸出、情報掲示板の設置、職員による男女平等参画を阻害する相談等を行っています。
　多くの皆様にご利用いただけるスペースを用意しましたので、ご紹介します。

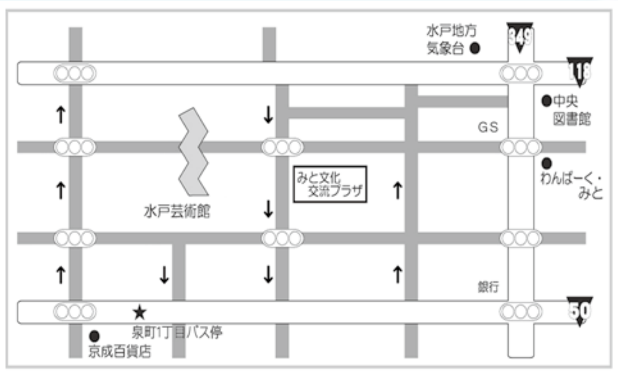
交流スペース

開館時間内であれば、どなたでも自由にお使いいただけるスペースです。情報交換や交流の場として、また憩いの場としてご利用いただけます。

図書資料室

男女平等参画に関する書籍や DVD、資料等があります。貸出も可能です。コピー機（有料）・印刷機（有料）を備えてありますので事務室にお声掛けのうえご利用ください。

水戸市男女平等参画センターは
みと文化交流プラザの
4・5・6階だよ!



※バスのご利用は、泉町１丁目バス停、徒歩３分です。
※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※駐車場が満車の場合は、近隣の民間駐車場（有料）をご利用ください。

水戸市五軒町1-2-12　ＴＥＬ029-226-3161

授乳室

小さなお子様を連れていらした方にご利用いただくスペースです。
お子様に授乳をしたり、オムツ替えにご利用いただけます。

ご紹介したスペースのご利用時間は
８：30〜17：15（月曜・祝日休館）です

みとちゃんが教えてくれる

平男　等子

水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」

ひらお とひとこ の
男女のヒミツ３
～ワーク・ライフ・バランスって何？～

“ひらお（平男）”と“ひとこ（等子）”も男女平等参画についてを考え始めて２年。かなり男女平等参画については詳しくなったみたいですよ。今日は、働くことの話題から「ワーク・ライフ・バランス」について疑問をもったみたいです。ちょっと会話を聞いてみましょう。

あのさ～。ひとこは働き始めたら、ずっと仕事を続けていきたいと思う？
ぼくは、生活していくのには仕事をして働くのが当たり前みたいなところがあるんだけれど。

私も、続けていきたいかな。でも、ただ仕事だけではなくて、プライベートも充実させたいと思っているの。好きな人と結婚して、子どもも育てたいよね。

どきっ！仕事と生活どっちも大事だよね。
それって「ワーク・ライフ・バランス」だよな？

ひらお、すごーい！　ワーク・ライフ・バランスっていう言葉知ってるのね！

ばかにするなよ、「仕事と生活の調和」ってやつだろ。でもよくわからないからもう少し、詳しく知りたいと思うんだけど・・・・。

それなら、強～い味方がいるじゃない。ねっ！“男女のヒミツ”、教えて～みとちゃん　!(^^)!

はーい！みんな、こんにちは～
水戸市のマスコットキャラクター「みとちゃん」だよ！
ワーク・ライフ・バランスについてわかりやすく教えてあげるね♪

基本編

ワーク・ライフ・バランスは、「仕事と生活の調和」といわれているよ。老若男女誰にとっても仕事は、暮らしを支え、生きがいや活力をもたらすもので重要なことだよね。でも家事や育児、近所づきあいなどの生活も、暮らしに欠かすことのできないもの。その両方を自らが希望するバランスで、充実させることができる状態のことをいうんだよ。

あたりまえのような気がするけれど、どうしてそれが大切なんだろう？

それはね、今の社会では、仕事に追われて心身の疲労により健康を害してしまう人、仕事と子育て・介護などの両立に悩む人など仕事と生活の間で問題を抱える人が多いといわれているよ。

そうね。仕事をしながら子育てや介護をするって、大変かもしれない。

そう、だから自分の思ったとおりに仕事と生活のバランスを保つことができるワーク・ライフ・バランスって、とっても大事なことなんだよ。

なるほど、さすが、みとちゃん！
それに自分の思った通りのバランスってことは、仕事と生活のバランスが必ず５：５というわけじゃなくて、人それぞれ違うってことなんだ。

そう、それにワーク・ライフ・バランスは自分だけが心掛ければできるものじゃないの。国や企業とか社会全体で取り組んでいく必要があるの。国で行っている政策の一つを紹介するね。

国の取組編

ひとつ「働き方」を変えてみよう！
カエル！ジャパン
Change! JPN

かえるがトレードマークのカエル！ジャパン。ひとつ「働き方」を変えてみよう！のキャッチフレーズは、「まずは〜してみよう」「ちょっと〜してみよう」と数字の1つをかけて、できることをまず１つやりましょうという意味を持っているんだよ。できることから、変えていきましょうという気持ちがこめられていてわかりやすいよね。

そういえば、今年の７月１日から２か月間、国家公務員を対象に朝型勤務の「ゆう活」がはじまったのよね。勤務時間を１～２時間前倒しして、夕方の時間を有効に使って、家族や友人との時間や、自分のために使う時間を確保するんですって。

まさに、ワーク・ライフ・バランスへの第一歩だね。

水戸市の取組編

男女平等参画課では、今年策定した、「水戸市男女平等参画推進基本計画（第２次）」の中でも、ワーク・ライフ・バランスは、女性の活躍推進には必要なこととして、取り上げているよ。ワーク・ライフ・バランスが社会に浸透するように事業者への働きかけを行ったり、２ページにある牛窪恵さんの講演会のように、広く市民の方に知っていただくために、講座や研修会を開催したりしているの。

働くようになったら、私も自分なりのワーク・ライフ・バランスを実現できるようになりたいな。今は、その準備期間。いろいろなことを吸収しなっくっちゃ！

そうだね。ぼくも、仕事も生活も充実させて、人生楽しく生きたいな！
ちょっとえらそうかな・・

みとちゃん　ありがとう。“男女のヒミツ”　またひとつ解決したね。
これからもいろいろ教えてね。

かしこまりました。　エヘッ！

新しくなった「水戸市男女平等参画推進基本計画」のお知らせ

みんながいきいきと輝くことのできる水戸市をつくるためには、誰もが自分の意思であらゆる分野に参画し、個性と能力を十分に発揮することができる男女平等参画社会の実現が不可欠です。
そこで、水戸市男女平等参画基本条例に基づき、平成27年度から31年度までの５年間を計画期間とする水戸市男女平等参画推進基本計画（第２次）を策定しました。

どのようなことをするための計画なのですか？

誰もが、男女の違いを認めあい、助けあいながら、性別に関わらず、いきいきと輝くことのできる男女平等参画社会を実現するための、**市民**、**事業者**、**市**の**役割と主な取組**を示した基本計画です。

計画では、どのようなことに取り組むのですか？

“多様性を認めあい、互いの人権が尊重されるまち”を目指します！

男女の違いを認めあい、ともに支えあいながら、一人一人の個性や尊厳が守られ人権が尊重される社会づくりを推進します。

・市民の皆様に、男女平等参画に基づく考え方や行動が自然と身につくように、意識づくりに取り組みます。
・ドメスティックバイオレンスやセクシュアルハラスメントなどの男女間の暴力の根絶に取り組みます。
・男女の性への正しい理解を踏まえた健康づくりに取り組みます。

“生涯を通じて、いきいきとはたらくことのできるまち”を目指します！

収入を得るための「働く」ことに限らず、家庭での家事、育児、介護や、地域での町内会活動、ボランティア活動なども「はたらく」こととしてとらえ、はたらきたい人が、望むようにはたらくことのできる社会づくりを推進します。

・職場、家庭、地域コミュニティでのはたらきについて、性別で役割を決めるのではなく、互いを尊重し役割を分担しあえるように、はたらく場での男女平等参画に取り組みます。
・仕事と育児、介護等の両立支援や長時間労働削減等による働き方の見直しの促進など、ワーク・ライフバランスの推進に取り組みます。
・働きたい、能力を発揮したいと希望する女性の活躍推進に取り組みます。

“あらゆる分野で力をあわせ、みんなでともにつくるまち”を目指します！

誰もが性別に関わりなく、社会のあらゆる分野において、その個性と能力を発揮し、主体的に参画することができる社会づくりを推進します。

・政策・方針決定過程への女性の参画の促進に取り組みます。
・男女の性別に関わらず、多様な価値観や意見を取り入れながら魅力と活力あるまちづくりに取り組みます。
・市民・事業者・行政がこれまで以上に連携を深め、協働により様々な課題の克服に取り組みます。

力をあわせて認めあい 助けあい 一人一人が輝く男女平等参画のまち・みとをつくりましょう！

Check!
水戸市男女平等参画推進基本計画（第２次）の詳細については、水戸市ホームページで、ご覧ください。

９月は水戸市男女平等参画推進月間です

水戸市では、平成17年度から毎年９月を男女平等参画推進月間と定め、広く市民や事業者の皆さんの理解と関心を深めるための取組をしています。推進月間では、市民団体との協働によりヒューマンライフシンポジウムや講座を開催します。ぜひご参加ください。

平成27年度男女平等参画推進月間の標語が決まりました

【最優秀作品】 だれでも出来る　いろんな役割　いろんな仕事

妻里小学校５年　黒澤　結月さん

【優秀作品】

女でしょ 男でしょにしばられて あきらめないであなたの夢を

上中妻小学校５年　塚本　凜さん

決めつけず　みんないきいき　男女平等

三の丸小学校６年　横須賀　あおいさん

【佳作】

男と女　スタート地点は　一緒です

水戸市　本木　和彦さん

ねぇ父さん　聞くより見てね　ぼくらの成長

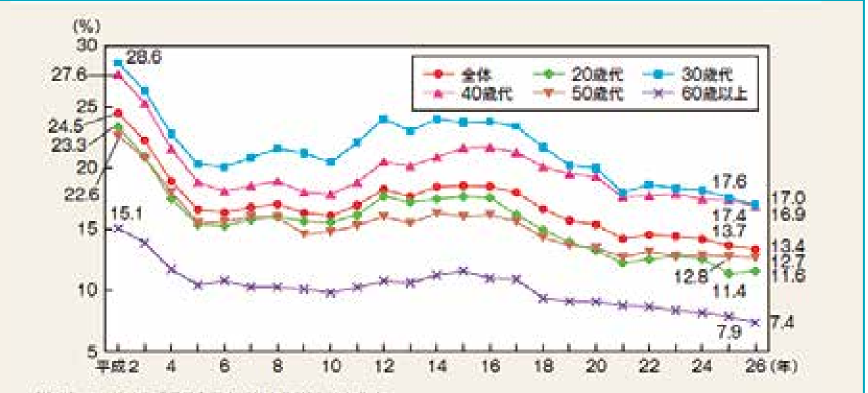
緑岡小学校６年　石田　琴子さん

「男だから」「女だから」そんな言葉なくしたい

石川小学校５年　岩本　凌雅さん

さんかくデータ　子育て期の男性と長時間労働

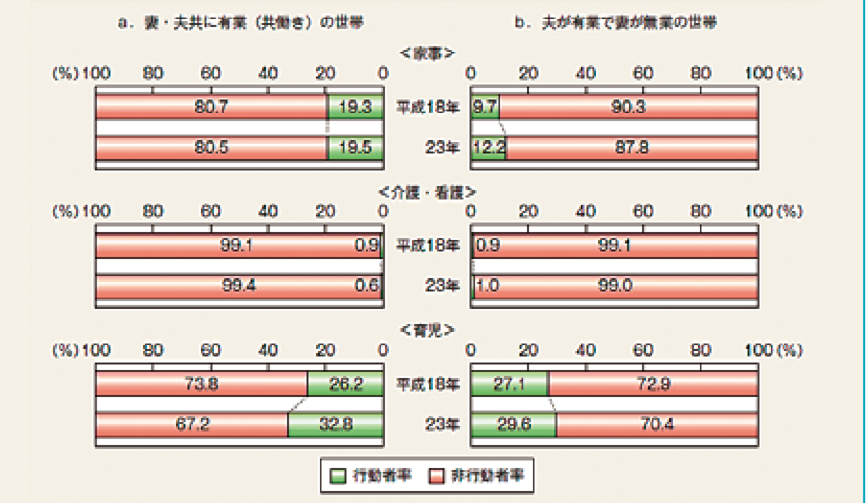
（図１）週労働時間60時間以上の男性就業者の割合（年齢階級別）



（備考）１．総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。
２．数値は，非農林業就業者（休業者を除く）総数に占める割合。
３．平成23年の割合は，岩手県，宮城県及び福島県を除く全国の結果。

（平成27年版 男女共同参画白書より）

（図２）６歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連行動者率



（備考）１．総務省「社会生活基本調査」より作成。
２．「夫婦と子供の世帯」における６歳未満の子供を持つ夫の１日当たりの家事関連（「家事」，「介護・看護」及び「育児」）の行動者率（週全体平均）。
※行動者率・・・該当する種類の行動をした人の割合（%）
※非行動者率・・・100%－行動者率で算出している。
３．本調査では，15分単位で行動を報告することとなっているため，短時間の行動は報告されない可能性があることに留意が必要である。

（平成27年版 男女共同参画白書より）

週労働時間60時間以上の男性就業者の割合を、年齢階級別に見てみると（図１）、どの世代も年々下降傾向にありますが、特に子育て期にある30歳代は17．0％、40歳代は16．9％（平成26年）となっており、他の年代に比べて、高い水準となっています。

我が国では、平成23年における６歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連全体に費やす時間（１日当たり）は67分と前回調査（18年）から７分増加しました。しかし、他の先進国（スウェーデン201分、ノルウェー192分、アメリカ178分）と比較して低水準にとどまっています。（そのうちの育児に関しての時間は日本は39分です）

（図２）は、６歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連行動者率（家事・育児をした人の割合）のグラフです。１日当たりの行動者率を「家事」「介護・看護」「育児」の３つの項目別に見てみると、「家事」は、妻・夫共に有業（共働き）の世帯で約８割、夫が有業で妻が無業の世帯で約９割の夫が行っていません。「育児」については、妻の就業状態にかかわらず、約７割の夫が行っていません。「介護・看護」については、まだその状況にある世帯が少ないと思われますが、育児同様、妻の就業状態にかかわらず、ほぼ行っていないという結果になりました。

（図１）（図２）から子育て期の男性が、家庭参画できていない原因の一つに、「長時間労働」があると考えられます。

男女平等参画社会推進のために・・・

■男女平等参画推進委員会

男女平等参画社会の推進のために設置された、市民・事業者・学識経験者から構成される委員会です。総合的な施策と重要事項を調査審議します。

■男女平等参画苦情処理委員会

男女平等参画に関する苦情の申し出を、公平・中立な立場に立って調査し、解決を図っていきます。詳細は、水戸市男女平等参画課までお問い合わせください。

編集後記

水戸市男女平等参画センターがリニューアルオープンして約５か月。事務室の前の交流スペースをお使いになる方も少しずつ増え、思い思いのスタイルでそれぞれの時間を楽しんでいます。そういう私も、窓から見える目の前の水戸芸術館のタワーや、遠くに見える阿武隈の山々を眺めてプチリフレッシュ。皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね。（Y）

発　　行　　日／平成27年９月　　発　　　　　行／水戸市
編　　　　　集／男女平等参画課
〒310-0063　水戸市五軒町1丁目2番12号
みと文化交流プラザ５F
TEL 029-226-3161　FAX 029-226-3162
ホームページ／http://www.city.mito.lg.jp
印　　　　　刷／関東印刷株式会社